

『街と犬たち』主要登場人物

《レオンシオプラド校の生徒(すべて五年一組所属)》

アルベルト・フェルナンデス……ラブレターの代筆やエロ小説の執筆を請け負うことから《文屋》と呼ばれている。ミラフロレスで少年期を過ごした。

奴隷……本名はリカルドアラナ。喧嘩が嫌い、クラスの面々からやられっぱなしになつて、ことから《奴隷》と呼ばれている。

ジャガー……《田陣》のリーダー格。喧嘩がめっぽう強く、クラスを牛耳っている。

カバ……《田陣》のメンバー。山間部の出身。賽子の結果、夜間に教室に置いてある試験問題を盗むことになった。

ボア……《田陣》のメンバー。レオンシオプラド校に居ついている野良の雌犬マルペアーダに懐かれている。

ルロス……《田陣》のメンバー。グループの中では一番手のような存在。

アロスビデ……級長を務める生徒。アルベルトを除くと、クラスで唯一の白人。

《レオンシオプラド校の士官》

ワリナ中尉……小柄で、生徒だけでなく下士官たちからも陰で馬鹿にされている。

ガンボア中尉……背が高く、筋肉質。規律を重んじる謹厳実直な軍人として評判

が高い。

ペソア下士官……小柄で筋肉質。生徒から陰で《ネズミ》と渾名される。

ガリド大尉……背が高く、大きな真つ白い歯が特徴的で《ベラニテ》と渾名される。

